

## 同窓会本部から部活動への寄附

ようやく前期期末テスト（9月6日～9日）もおわり、遺愛アリーナに部活動の活気が戻ってきました。ただ、新型コロナの変異デルタ株が函館でも拡がり、用心しての活動再開です。時期的には高校3年生が抜け、高2・高1主体のチームが新人戦目指しての活動です。

そうした中で強い援軍の登場です。

遺愛同窓会本部が、後輩達の部活動のために10万円を寄附をして下さいました。9月10日（金）に同窓会本部の成田恭子同窓会会長が校長室にわざわざお越し下さり、ささやかな贈呈式が行われました。

成田会長は遺愛 K27 回英語科卒業生で、音楽大学でピアノを専攻した後、1979年から1983年まで遺愛の音楽教師として勤めました。在任中は現在の吹奏楽局の前身である吹奏楽同好会を当時の生徒と共に立ち上げました。



遺愛の部活動の様子について、感想を伺ってみると、「新型コロナのなかでも、遺愛生らしく伸び伸びと活動し、各部活とも素晴らしい成績をあげていて、同窓生としてとても嬉しく、後輩の皆さんを誇らしく思っています。

今、大変なことはたくさんあると思いますが、辛抱してやり続けると必ず花開くときが来ますので、頑張ってください。期待しています。」とのことでした。

2021年9月16日（木）